

会員総会報告

1. 2003 年度事業報告

総務担当 永田淳嗣

今年度の運営委員会の活動として特筆すべきは、昨年度より懸案となっていた、日本マレーシア研究会規約の立ち上げに向けての準備作業であった。2002 年 12 月の東京大学駒場キャンパスでの大会後、さっそく会則の運営委員会原案の作成作業に入り、立本会長のご意見もうかがいつつ、約半年をかけて、2003 年 7 月には運営委員会の原案とでもいべきものが完成した。その後運営委員の間で活発な議論を交わし、10 月末によく会員の皆様に運営委員会原案を提示できる運びとなった。その後数名の会員の方々から、原案に対して大変貴重な意見を頂くことができ、それらを踏まえ、運営委員会で再度討議の上、原案に修正を加え、総会でのマレーシア研究会規約(会則、細則、会長選挙規定)運営委員会案の提出にこぎつけることができた。

なお、本総会において規約が採択された場合、規約立ち上げに伴う今回限りの特例として、年度内に会長選挙を実施し、選出された会長予定者の指名によって 2004-2005 年度の運営委員会メンバーが決まるため、来年度の大会開催場所を含む次年度の事業計画に関しては割愛させて頂いた。

2. 会計報告

会計担当 西芳実

JAMS の会計年度は 4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までとなっています。2003 年 12 月 13 日に開かれた JAMS 会員総会では 2002 年度収支決算報告、2003 年度収支中間報告、2004 年度予算案が審議され、承認されました。また、これにさきだち、会計報告方法の変更について会計担当運営委員より提案があり、あわせて承認されました。

(1)会計報告方法の変更について

昨年度までは、会費徴収率が低かったことや、年間の事業内容が定まっていなかったことなどもあり、その年度にいくら入金があり、そのうちいくら支出があったのかを報告するという形で会計報告が行われてきました(2000 年度会計報告については *JAMS News* No.23 (p.14) を、2001 年度会計報告については *JAMS News* No.25 (p.12) をご参照下さい)。この方式では、会費の前払い分は入金があった年度に計上されることとなります。しかし、2001 年度以降、会員のみなさまのおかげさまをもちまして、会費徴収率が 80%近くとなっています。そこで、会費の前払い分をのぞいて単年度ごとの収入を算出し、事業計画の策定にあたっては、単年度ごとの収支決算にもとづいて行うことを会計担当委員より提案し、総会で承認されました。

(2)2002 年度収支決算報告

会計報告方法の変更に伴い、2001 年度と 2002 年度の会費については、今回に限り、当該年度を過ぎて入金されたものについても遡ってその年度に計上しました。また、前払いされた会費については次年度分以降に計上しなめました。これにより、2001 年度から 2002 年度への繰越金は、17 万 241 円(2001 年度 JAMS 会員総会で承認された 2001 年度会計報告では 14 万

808 円)となりました(「※参考 新会計方式による 2001 年度収支」をご参照下さい)。

2002 年度収支決算は表 1 のとおりです。会員数は 167 名で、うち 130 名分の会費が納入されました(会費徴収率 79%)。主な支出は会報 3 号分の印刷・発送費用および研究大会の会場費です。単年度での収支差額は 992 円となりました。

〔表 1〕 2002 年度収支決算報告 (2002.4.1～2003.3.31、単位:円)

前年度繰越金		170,241	
2002 年度収入		2002 年度支出	
会費	260,000	通常支出	
利息	14	会報	230,198
		23 号	(82,255)
		24 号	(74,329)
		25 号	(73,614)
		研究大会	27,780
		会計事務	1,044
合計	260,014 ①	合計	259,022 ②
2002 年度収支差額 (①-②)		992	
次年度繰越金		171,233	

※参考 新会計方式による 2001 年度収支(単位:円)

前年度繰越金		106,382	
2001 年度収入		2001 年度支出	
会費	220,000	会報	156,220
利息	79	21 号、名簿印刷・発送	(81,653)
		22 号	(74,567)
合計	220,079 ①	合計	156,220 ②
2002 年度収支差額 (①-②)		63,859	
次年度繰越金		170,241	

(3)2003 年度収支中間報告

2003 年 4 月 1 日から 2003 年 12 月 5 日までの収入および支出の状況について報告し、あわせて年度末の収支見込もあげました(表 2)。2003 年度の会員数は 168 名で、うち 110 名の方から会費の納入があります。2003 年度は、会報発行、研究大会、名簿管理といった通常の活動と別に、規約の立ち上げと会長選挙が見込ま

れます。このため、単年度の収支差額は 4 万円相当の支出超過となる見込みです。研究大会については、大会委員のご尽力により施設使用料について便宜をはかっていただきました。次年度への繰越金は 12 万 9675 円(見込み)、次年度以降の会費の前払い分は 8 万 9000 円(見込み)で、あわせて 21 万 8675 円が 2004 年度に繰り越される見込みです。

[表 2] 2003 年度収支中間報告 (2003 年 12 月 5 日現在、単位:円)

前年度繰越金			171,233		
2003 年度収入			2003 年度支出		
	12 月 5 日時点	年度末 (見込み)		12 月 5 日時点	年度末 (見込み)
会費	221,000	271,000	通常支出		
雑収入	500	500	会報	158,062	238,062
利息	4	4	26 号	(75,234)	(75,234)
			27 号	(82,828)	(82,828)
			28 号		(80,000)
			研究大会		5,000
			事務費	4,793	5,000
			合計	162,855	248,062
			特別支出		
			規約立ち上げ	22,828	35,000
			会長選挙		30,000
			合計	22,828	65,000
合計	221,504	271,504 ①	合計	185,683	313,062 ②
2003 年度収支差額 (①-②)			-41,558		
次年度繰越金			129,675		
次年度以降会費前払い分			89,000		

(4)2004 年度予算案

会費の前払い分を含めて、会費収入は会費 168 人分を見込みました。支出については、これ

までの実績を踏まえたうえで余裕をもった額を設定しました(表 3)。

〔表 3〕 2004 年度予算案(単位:円)

前年度繰越金		129,675	
2004 年度収入		2004 年度支出	
会費	336,000	通常支出	
		会報	270,000
		研究大会	50,000
		事務費	10,000
		予備費	5000
合計	336,000 ①	合計	335,000 ②
2004 年度収支差額 (①-②)		1,000	
次年度繰越金		130,675	

3. 日本マレーシア研究会規約(会則、細則、会長選挙規定)運営委員会案の審議・採決

総務担当 永田淳嗣

まず、総務担当の永田より、会則第 2 条(目的)など、運営委員会案の趣旨に関して若干の説明が行われた後、審議に入った。会員からは文案の誤字に対する指摘の他、会則第 2 条(目的)の文面に対する意見、第 3 条第 3 項の議案提出の際の要件に関して、意見が出された。これに対して総務担当の永田より、この規約案は、事前に会員からの意見収集期間を設けた上で、すでに委任状による賛否の意思表示にかけられており、本日の総会では文面に修正を加えないで採決にかけたいとの返答があった。さらに、本

日提起された規約の文面の修正案に関しては、この会則案を採択した上で、来年度の総会の議題とすることが手続き的に可能であるとの説明がなされた。

以上の審議を経た後、開票の立会人に菅原由美会員を指名し、投票による採決に入った。開票の結果、委任状を含む投票総数 68、賛成 62、白票 2、無効票 4 により、日本マレーシア研究会規約(会則、細則、会長選挙規定)運営委員会案が可決された。規約(会則、細則、会長選挙規定)はただちに施行され、本年度内に 2004-2005 年度の会長予定者の選挙と、当選した会長予定者による新運営委員会メンバーの指名が行われるとの説明がなされた。